

平田東助関係文書（その2）目録

2021年7月

国立国会図書館憲政資料室

目録・最新の概要情報はウェブサイトに掲載しています

国立国会図書館リサーチ・ナビ「憲政資料室の所蔵資料」

(<http://rnavi.ndl.go.jp/kensei/>)

- 原資料にタイトルがない場合は、整理者が適宜付した。
- 年月日、作成者などは推定可能なものについては記述した。年月日に関しては推定した情報を〔 〕内に含めた。
- 添付は添付されていたものと数量を記述した。

内容紹介

- 資料は1.書簡、2.日記・手帳類、3.書類、4.スクラップブック・新聞、5.履歴資料、6.詩文稿、7.写真、8.ハイデルベルグ大学博士号関係に分類した。
- 1.書簡は主として東助自身の草稿が多い。草稿や桂太郎からの書簡（1点）には朝鮮関係の記述が見受られる。また、東助の長男栄二に宛てた清水澄書簡（1点）も含まれる。
- 2.日記・手帳類には1904年と1906年の日記がある。1906年の日記は1月28日から始まり、日露戦争に対する平田の見解や動向が記されている。また、1906年の日記は加藤房蔵（編）『伯爵平田東助伝』に収録されている「明治39年日誌」の原本である。ただし伝記では原本にある発信欄等の一部記載が省略されている。このほか関東大震災に際して平田家の家扶が書きとめたと思われる日誌などがある。
- 3.書類は1.外交関係、2.産業組合関係、3.平田東助覚書、4.その他に分類した。外交関係は主としてワシントン会議に関連する資料であり、産業組合関係は産業組合中央会会頭辞任挨拶の原稿や産業組合訓の草稿など。平田東助覚書には大正天皇との書に関するやりとりや芳川顕正から教育勅語旧稿を借用した旨を書いたメモ書きなどの資料を収めた。
- 4.スクラップブック・新聞は、主に平田に関する各紙の報道である。スクラップブックは2冊あるが、1冊は主として平田や産業組合の動静を報じたものであり、もう1冊は平田の葬儀を報じた記事でまとめられている。どちらも平田死後の記事が含まれる。
- 5.履歴資料は主に『伯爵平田東助伝』の原稿の一部である。
- 6.詩文稿には『伯爵平田東助伝』にも収められている漢詩の草稿などがある。
- 7.写真は1.東助ら家族の写真、2.葬儀写真、3.『伯爵平田東助伝』に使用されている写真に分類した。

※ 本目録は憲政資料室が小野聡子氏（青山学院大学大学院文学研究科史学専攻）に依頼して作成したものです。

平田東助関係文書（その2）

- 1.書簡（資料番号1～15）
- 2.日記・手帳類（資料番号16～19）
- 3.書類
 - (1) 外交関係（資料番号20～25）
 - (2) 産業組合関係（資料番号26～29）
 - (3) 平田東助覚書（資料番号30～36）
 - (4) その他（資料番号37～43）
- 4.スクラップブック・新聞（資料番号44～47）
- 5.履歴資料（資料番号48～52）
- 6.詩文稿（資料番号53～70）
- 7.写真
 - (1) 東助・親族関係（資料番号71～89）
 - (2) 葬儀関係（資料番号90～94）
 - (3) 伝記（資料番号95～100）
- 8.ハイデルベルグ大学博士号関係（資料番号101）

平田東助関係文書(その2)目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
1.書簡(資料番号1～15)					
1	有松英義書簡 平田東助宛	有松英義	平田東助	大正11年12月3日	数量 1通 内容 原稿拝受(『小松原英太郎君事略』の原稿力) 記述法 墨書
2	遠藤忠助書簡 平田東助宛	遠藤忠助	平田東助	大正5年11月5日	数量 1通 内容 家政条規改正案について、小笠原伯爵家、上杉伯爵家、山内侯爵家の家令等の俸給 付属資料 電報1通、封筒1点 記述法 墨書
3	桂太郎書簡 平田東助宛	桂太郎	平田東助	〔明治41年〕3月17日	数量 1通(5枚) 内容 拓殖会社の件、伊藤統監と政府の協議整う 付属資料 封筒1点 記述法 墨書
4	棚橋方英書簡 平田東助宛	棚橋方英	平田東助		数量 1枚 内容 上杉鷹山公御文章写について 付属資料 封筒2点 記述法 墨書 備考 もと番号24(付)包紙「明治四十年頃先考書」1枚に同封
5	平田東助書簡(草稿) 林宛	平田東助	林	明治41年6月23日	数量 1枚 内容 林の著書に対する感想、地主と小作人との関係、農業発展 記述法 墨書
6	平田東助書簡(草稿)	平田東助		〔大正5年〕〔10～11月〕	数量 1通(4枚) 内容 朝鮮総督後任に関して 記述法 墨書 備考 下書きと思われ、宛先は不明、年代は内容より推定
7	平田東助書簡(草稿) 武井守正宛	平田東助	武井守正	〔大正13年〕〔10月〕17日	数量 1通 内容 久邇宮朝融婚約破棄について相談願う 付属資料 紙片1枚(「10月3日とあり」) 記述法 墨書
8	封筒(小松原英太郎宛)	平田東助	小松原英太郎		数量 1点 記述法 墨書 備考 封筒表「枢密顧問官 小松原英太郎殿」、封筒裏「平田東助」
9	平田東助書簡(草稿)	平田東助		1月24日	数量 1枚 内容 「利用組合ノ文字穩ナラス使用組合トシテハ如何」 記述法 墨書
10	平田東助書簡(草稿)	平田東助			数量 1通 内容 「小笠原子の件に付浜尾男の承諾を難得」とあり
11	平田東助書簡(草稿)	平田東助			数量 1枚 内容 「首相面会後に相見仕、其当時小生には更に其事を承知不致…」 記述法 墨書 備考 「蹠蹠」の練習があり、書簡草稿

平田東助関係文書(その2)目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
12	平田東助書簡(草稿)〔断片〕	平田東助			数量 1通 内容 教育勅語発布の顛末のこと、拝借書類返却のこと 記述法 墨書 備考 書簡断片、芳川顕正宛か
13	平田東助書簡(草稿)	平田東助			数量 1枚 内容 「議会の情勢は案に違はず」 記述法 墨書
14	差出人不明書簡			〔大正13年〕〔2月〕	数量 1通 内容 平山成信授爵祝いにつき、醵金を募る 記述法 墨書
15	清水澄書簡 平田栄二宛	清水澄		大正13年9月28日	数量 1通 内容 住友、第一銀行、日本興行銀行への採用に関する報告 付属資料 封筒1点 記述法 墨書
2.日記・手帳類(資料番号16~19)					
16	明治37年日記	平田東助		明治37年1月28日	数量 1冊 付属資料 メモ1枚(米の生産量、養蚕などについて) 記述法 鉛筆 備考 『伯爵平田東助伝』には未収録
17	明治39年日記	平田東助		明治39年1月1日	数量 1冊 記述法 鉛筆 備考 『伯爵平田東助伝』に収録
18	日誌			大正12年9月1日	数量 1綴 内容 関東大震災の様子を記す 記述法 墨書 備考 『伯爵平田東助伝』の「震災日誌」とは記載が異なる。平田家家扶の記述カ
19	日誌			〔大正3年〕〔5月〕～〔大正4年〕〔7月〕	数量 1綴 内容 花の栽培、大浦事件のこと(大正4年7月)まで 記述法 墨書
3.書類					
(1) 外交関係(資料番号20~25)					
20	中国問題について	平田東助		〔大正10年〕	数量 2枚 内容 山東合併、委任統治の論理を使うのは困難 記述法 鉛筆 用紙 「内閣」罫紙
21	ドイツについて	平田東助		大正10年6月15日	数量 1枚 内容 世界大戦中ドイツの雑誌、新聞について 付属資料 紙片1枚(資料の由来を説明) 記述法 墨書 用紙 「産業組合中央会」罫紙
22	南西諸島の防備	平田東助		〔大正10年〕〔12月〕〔9日〕	数量 1枚 内容 ワシントン会議の内容カ 記述法 鉛筆 用紙 「内閣」罫紙

平田東助関係文書(その2)目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
23	「第一現金払」	平田東助			数量 1枚 内容 募債に関して 記述法 鉛筆 用紙 「内閣」 罫紙
24	「第三」（「敵国の人民に属する財産」）				数量 1枚 内容 第三「敵国ノ人民ニ属スル財産」、第四「略有シタル敵地」 付属資料 包紙「明治四十年頃先考書」1枚、「平田臨時外交調査委員会委員閣下」封筒1点 記述法 墨書
25	地図（中国）				数量 1枚 記述法 鉛筆 備考 もと番号24（付）包紙「明治四十年頃先考書」1枚に同封
(2) 産業組合関係 (資料番号26～29)					
26	宝飯郡豊橋近所渡辺平内治水作人【ほか一括】				
26-1	宝飯郡豊橋近所渡辺平内治水作人			〔明治34・35年〕	数量 1枚 内容 東加茂郡生駒などの購買組合に対する批判 記述法 墨書
26-2	連名				数量 1枚 内容 三松、有働他 記述法 墨書 備考 26-1の続きカ
27	同栄	平田東助		〔大正10年〕〔3月〕	数量 1枚 内容 「社会は大いなる連合組合の如し…」（「産業組合訓」の一部） 記述法 墨書
28	産業組合中央会会頭辞任の挨拶	平田東助		〔大正11年〕〔9月〕	数量 3枚 記述法 鉛筆
29	メモ				数量 1枚 内容 産業組合員ら有志による記念像設立について 記述法 墨書 用紙 「臨時外交調査委員会」封筒
(3) 平田東助覚書 (資料番号30～36)					
30	添書	平田東助		大正4年1月26日	数量 1通 内容 陛下との書に関するやりとりを記録する 付属資料 封書1点（添書） 記述法 墨書
31	芳川翁談話	平田東助		〔大正6年〕〔11月〕〔30日〕	数量 1枚 内容 芳川顕正より教育勅語旧稿拝借 記述法 墨書
32	覚書	平田東助		〔明治39年〕〔1月〕	数量 1枚 内容 転地療養につき欠席を首相に伝える 記述法 墨書

平田東助関係文書(その2)目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
33	治水問題	平田東助		〔8月〕〔30日〕	数量 1枚 内容 災害復旧工事について 付属資料 封筒1点(「治水問題」) 記述法 墨書 用紙 「内務省」罫紙
34	書簡写	平田東助			数量 1枚 内容 震災により消失した書簡草稿 付属資料 紙片1枚(写の由来を説明する) 記述法 鉛筆 用紙 「産業組合中央会」罫紙
35	鉄道事項				数量 1枚 内容 各新聞鉄道関係見出し 記述法 謄写版
36	メモ	平田東助			数量 1枚 内容 条約、山県内閣成立、伊藤内閣成立年月日などのメモ 記述法 鉛筆
(4) その他(資料番号37~43)					
37	鈴木町宅設計図			大正13年11月10日	数量 1枚 付属資料 封筒1点 記述法 鉛筆
38	はがき断片			明治40年12月19日	数量 1枚 付属資料 「報徳訓 全文」と書かれた紙片1枚 記述法 活字
39	名刺	平田東助			数量 3枚 内容 「伯爵平田東助」とあり 記述法 活字
40	南部氏のこと				数量 1枚 内容 南部、工藤氏について 記述法 墨書
41	メモ	平田東助			数量 1枚 内容 明治初年の南画について 記述法 墨書 備考 もと番号24(付)包紙「明治四十年頃先考書」1枚に同封/
42	メモ	平田東助			数量 1枚 内容 辞書などの書名 記述法 鉛筆 用紙 「産業組合中央会」罫紙 備考 もと番号24(付)包紙「明治四十年頃先考書」1枚に同封
43	メモ	平田東助			数量 1枚 内容 「文久 麻疹流行」 記述法 墨書 備考 もと番号24(付)包紙「明治四十年頃先考書」1枚に同封
4.スクラップブック・新聞(資料番号44~47)					

平田東助関係文書(その2)目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
44	スクラップブック			明治40年12月17日～昭和11年11月22日	数量 1冊 内容 平田氏の動向などに関する新聞切抜 記述法 活版 備考 表紙に「新聞切抜平田東助」とあり
45	平田加藤連立内閣			大正6年1月15日	数量 1枚 記述法 活版 備考 『読売新聞』
46	新聞切抜			〔大正13年〕5月30日	数量 1枚 内容 平田氏上京を報じる新聞切抜 記述法 活版
47	スクラップブック			大正14年3月31日～4月	数量 1冊 内容 大正4年3月の辞任から4月の死去に関する新聞切抜、一周忌法要の記事も含む 記述法 活版
5.履歴資料（資料番号48～52）					
48	平田東助履歴				数量 1枚 記述法 ペン 備考 東助死後に親族によって作成されたもの
49	平田家由緒				数量 1枚 内容 『伯爵平田東助伝』「平田家の由緒」（323頁～324頁）原稿の一部 記述法 墨書
50	平田家由緒				数量 1綴 内容 『伯爵平田東助伝』「平田家の由緒」（324頁）原稿 記述法 墨書
51	経歴談草稿	平田東助			数量 1枚 内容 『伯爵平田東助伝』「経歴談」（327頁）原稿 付属資料 紙片1枚（先行時追懐手記の一片） 記述法 ペン
52	メモ	平田東助			数量 1枚 内容 上杉治憲ら系図 記述法 墨書 備考 もと番号24（付）包紙「明治四十年頃先考書」1枚に同封
6.詩文稿（資料番号53～70）					
53	漢詩	平田東助		明治40年8月	数量 1枚 内容 「月落…」 記述法 墨書 備考 もと番号24（付）包紙「明治四十年頃先考書」1枚に同封
54	漢詩草稿	平田東助			数量 1枚 内容 「維歲之癸亥…」 記述法 鉛筆
55	漢詩草稿	平田東助			数量 1枚 内容 「恭呈高崎翁靈前」 記述法 墨書 備考 もと番号24（付）包紙「明治四十年頃先考書」1枚に同封

平田東助関係文書(その2)目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
56	漢詩草稿	平田東助			数量 1枚 内容 『伯爵平田東助伝』『西涯先生詩鈔』収録の「漁家」「観捕魚」(493、526頁等)草稿 記述法 墨書 備考 和歌草稿もあり
57	漢詩草稿	平田東助			数量 1枚 内容 『伯爵平田東助伝』『西涯先生詩鈔』『賀某翁及孺人七十』(500頁)草稿 記述法 墨書
58	漢詩草稿	平田東助			数量 1枚 内容 『伯爵平田東助伝』『西涯先生詩鈔』『激浪至一時報和議不成一』(525頁)草稿他 記述法 墨書
59	漢詩草稿	平田東助			数量 1枚 内容 「此山此水人間…」 記述法 墨書
60	歌稿				数量 1枚 内容 「隅田川月の光は今もなお…」他2首 記述法 墨書
61	漢詩草稿	平田東助			数量 1枚 内容 『伯爵平田東助伝』『西涯先生詩鈔』収録の「養蠶」(515頁) 記述法 墨書
62	歌稿				数量 1枚 内容 「自由党」 記述法 墨書
63	歌稿				数量 1枚 内容 「ほろほろと椿こぼるる…」、裏に「12年5月2日大阪中村より送付」とあり 記述法 墨書
64	漢詩草稿	平田東助			数量 1枚 内容 「今年の御題にちなみて一首よみかえず」とあり 記述法 墨書
65	漢詩				数量 1枚 内容 「隴上巢空…」 記述法 墨書
66	漢詩草稿				数量 1枚 内容 「夙禁飲酒又…」 記述法 墨書
67	漢詩				数量 1枚 内容 和韻・次韻について、横山桜浜について 記述法 鉛筆
68	漢詩草稿	平田東助			数量 1枚 内容 『伯爵平田東助伝』『西涯先生詩鈔』収録の「已見壑水至・・・」(535頁) 付属資料 封筒1点(封筒表「大正7年書簡中」、封筒裏「済生会用」とあり)、白紙1枚 記述法 墨書
69	歌稿				数量 1枚 内容 「山里は…」他 記述法 墨書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
70	漢詩草稿				数量 1枚 内容 「宝貨用…」他 記述法 墨書
7.写真					
(1) 東助・親族関係 (資料番号71~89)					
71	平田東助(写真)			〔明治4年〕	数量 1枚 付属資料 「東京日日新聞」 罫紙1枚(「東助」とあり) 記述法 写真 備考 写真裏に「明治4年」とあり
72	「品川伯爵墓」(写真)			大正10年5月16日	数量 1枚 記述法 写真 備考 灰色の台紙
73	「品川伯爵墓」(写真)			大正10年5月16日	数量 1枚 記述法 写真 備考 白い台紙
74	平田東助(写真)			大正10年5月19日	数量 1点 内容 「於京都梅ノ宮謹写」とあり 記述法 写真 備考 年月日は台紙から
75	平田東助(写真)			大正10年5月2日	数量 1枚 内容 「京都梅ノ宮於池中亭謹写」とあり 記述法 写真
76	平田東助(写真)			大正11年9月18日	数量 1枚 記述法 写真 備考 カラーの絵葉書
77	「短歌部送別会」			昭和6年2月3日	数量 同文2枚 内容 裏に「昭和6年2月3日於本郷江知勝 短歌部送別会平田先生」とあり 記述法 写真 備考 他1枚は「月報」と裏にあり
78	平田東助(写真)				数量 1枚 内容 背広姿の東助を写す 記述法 写真
79	平田東助(写真)				数量 1枚 記述法 写真 備考 「江木写真店」台紙
80	平田東助(写真)				数量 1枚 記述法 写真 備考 「鈴木真一」(写真館)台紙
81	平田東助(写真)				数量 2枚 内容 平田東助と犬を写す 記述法 写真
82	平田東助(写真)				数量 1点 記述法 写真 備考 東京春光堂製台紙
83	平田東助(写真)				数量 2枚 記述法 写真 備考 「鈴木真一」(写真館)台紙

平田東助関係文書(その2)目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
84	平田東助(写真)				数量 1枚 付属資料 紙挟1点(「はなごよみ 大正三八月一日」)、紙片1枚(大正十一年壬戌) 記述法 写真
85	「平田達子」(写真)				数量 1枚 内容 台紙裏に「平田達子(祖母)」とあり 記述法 写真
86	「省三」カ(写真)				数量 1枚 内容 台紙裏に「省三?」とあり。省三は東助の三男。 記述法 写真
87	「伊東祐吉」(写真)				数量 1枚 内容 裏に「平田東助の妹、伊東と云う姓の家に嫁ぎ生まれた子供あり、これがこの写真の人」とあり 記述法 写真
88	「盆栽」(写真)				数量 1枚 内容 87と同じ場所を写す、盆栽のみ 記述法 写真
89	人物(写真)				数量 1枚 内容 軍服姿、サインあり 記述法 写真 備考 台紙裏「カサイ写真」とスタンプあり
(2) 葬儀関係(資料番号90~94)					
90	葬儀(写真)			大正14年4月14日	数量 1点 内容 表紙に「大正14年4月14日称名寺住職読経」とあり 記述法 写真 備考 年月日は表紙から
91	葬儀(写真)			大正14年4月14日	数量 1点 内容 「霊柩鳴鶴山荘出門」とあり 記述法 写真 備考 年月日は表紙から
92	葬儀(写真)			〔大正14年〕〔4月〕〔14日〕	数量 1点 内容 霊柩鳴鶴山荘出門風景 記述法 写真 備考 表紙に記述なし
93	葬儀(写真)			〔大正14年〕〔4月〕〔19日〕	数量 1点 内容 護国寺埋葬、神主 記述法 写真
94	葬儀(写真)			〔大正14年〕〔4月〕〔14日〕	数量 1点 内容 墓前のみ写されている 記述法 写真
(3) 伝記(資料番号95~100)					
95	「大正十年の肖像」(写真)			大正11年10月19日	数量 3枚 内容 『伯爵平田東助伝』(口絵321頁)「大正十年の肖像」に使用されている写真と同じ 記述法 写真 備考 台紙裏に年月日の記入あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
96	「伯の肖像」(写真)				数量 1枚 内容 『伯爵平田東助伝』(口絵表紙)に使用されている写真と同じ 記述法 写真
97	「伯の青年時代」(写真)【ほか一括】				
97-1	「伯の青年時代」(写真)				数量 1枚 内容 『伯爵平田東助伝』(口絵199頁)に使用されている写真と同じ 記述法 写真
97-2	「柘前を飾る御下賜品」(写真)				数量 1枚 内容 『伯爵平田東助伝』(口絵1頁)に使用されている写真と同じ 記述法 写真
98	「明治23年帝国議会議院式当時」(写真)			〔明治23年〕〔11月〕	数量 1枚 内容 『伯爵平田東助伝』(口絵1頁)に使用されている写真と同じ 記述法 写真
99	「自画山水(絵画を学び初めの頃)」(写真)				数量 1枚 内容 『伯爵平田東助伝』(口絵199頁)に使用されている写真と同じ 記述法 写真
100	「戊申詔書ヲ神靈トセル鳴鶴山荘山腹の堂宇」(写真)				数量 1枚 内容 『平田東助伝』(口絵321頁)では「鳴鶴山荘腹の廟社(御神靈は戊申詔書)」とあり 記述法 写真
8.ハイデルベルグ大学博士号関係(資料番号101)					
101	ハイデルベルグ大関係資料(ハイデルベルグ大学博士号授与証等)			1875年	数量 12枚 記述法 電子式複写 備考 佐賀郁朗「平田東助研究補遺—伝記と資料の差異をただす—」(『農協基礎研究』14号、中央協同組合学園、1992年度)に当資料の紹介あり